

コード	102010101
記入日	H24.5.31

# 事業評価表【途中評価】

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	横浦 利一

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	しまのキャンパス体験補助事業
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	102	施策名称	しまの交流ネットワークづくり	項コード	1
基本事業コード	10201	基本事業名称	地域間交流の推進	目コード	3
事務事業コード	1020101	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	140
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町しまのキャンパス体験事業補助金交付要綱		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 修学旅行来島者数		(対象指標1)	400人			
(対象2) 島外学生団体来島者数		(対象指標2)	600人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・新上五島町で実施される修学旅行や島外学生団体（10人以上）の文化スポーツ合宿等に対し、経費の一部を助成することにより、積極的な誘致活動を展開することができ、交流人口の拡大及び地域経済の活性化が図られた。 →修学旅行来島者数 309人 →島外学生団体来島者数 698人 (延べ宿泊者数 1,285人)	***** 学校等誘致活動件数	44件	147%	学校等誘致活動件数÷ 計画件数	***** 平成23年度
		① (達成率分析)	県観光連盟主催の県外誘致活動への参加や独自に学校を訪問し、目標を達成することができた。			
		***** 旅行会社誘致活動件数	21件	70%	旅行会社誘致活動件数 ÷計画件数	***** 平成23年度
		② (達成率分析)	広範囲の旅行会社に情報発信ができる県観光連盟説明会への参加及び学校訪問を中心に誘致に取り組んだため旅行会社の訪問は少なくなった。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・島外からの修学旅行や文化スポーツ合宿等は、本土からの高い船賃が主な障害要因となり旅行費用が高額となるため、新上五島町では実施しにくい状況である。これらの助成措置として往復の船賃、宿泊費、体験学習料の一部を助成することによって、積極的な誘致活動を展開することができ、交流人口の拡大及び地域経済の活性化が図られる。 ①修学旅行推進事業 修学旅行（1泊以上） 1人あたり7,500円（1泊目） 2泊目以降1人あたり2,500円加算 ②島外団体誘致推進事業 島外学生団体（1泊以上） 1人あたり2,000円	***** 修学旅行来島者数	309人	77%	修学旅行来島者数÷ 計画数	***** 平成23年度
		① (達成率分析)	22年度で県補助金が終了した影響で23年度修学旅行は少なくなったが、23年度より施行した本事業の補助制度を活用した誘致活動により24年度修学旅行5校が来島予定。			
		***** 島外団体来島者数	698人	116%	島外団体来島者数÷ 計画数	***** 平成23年度
		② (達成率分析)	23年度より創設した本事業の補助制度を活用した誘客活動により多くの島外学生団体に文化スポーツ合宿等で来島している。			

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	30	44		30	44				
	② 件	30	21		30	21				
成果指標	① 人	400	309		400	309				
	② 人	600	698		600	698				
総事業費 C (A+B)	千円	2,096	2,096		2,096	2,096				
直接事業費 A	千円	1,396	1,396		1,396	1,396				
人件費 B	千円	700	700		700	700				
内訳	従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	2,096	2,096		2,096	2,096				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	新上五島町の新しい産業として観光振興は、地域経済を活性化するためには必要不可欠である。また、町内の雇用を促進する原動力となっている。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	本土からの高い運賃が主な阻害要因となり旅行費用が高額となるため、新上五島町では実施しにくい状況であるが、23年度より施行した本事業の補助制度を活用した誘致活動により多くの学生に新上五島町に来島して頂いた。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	本事業の補助制度を活用しながら修学旅行及び学生文化スポーツ合宿等の更なる誘客に取り組んでいく。また、体験メニュー等の新たな観光資源の開発などに努め、効果のある誘致活動に取り組む。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	23年度より施行した本事業の補助制度を活用した誘致活動により、多くの学生に新上五島町に来島して頂き、交流人口の拡大及び地域活性化が図られた。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	本土からの高い運賃が主な阻害要因となり旅行費用が高額となるため、新上五島町では実施しにくい状況であり、本事業の補助制度を活用した誘致活動が効果的である。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	23年度より施行した旅行費用を一部補助する本事業を活用して、学校及び旅行会社への誘致活動を積極的に取り組むことができたことにより、多くの学生に新上五島町に来島して頂き、交流人口の拡大及び地域活性化が図られた。
	今後、課題に向けた改善策	本土からの高い運賃が主な阻害要因となり旅行費用が高額となるため、旅行費用を一部補助する本事業は誘致活動にかなり効果的であり、今後も誘致活動を積極的に展開していく。また、体験メニュー等の新たな観光資源の開発などに努めていく。

2次評価	本事業により島外からの修学旅行や文化スポーツ合宿等が誘致しやすくなり交流人口の拡大や地域経済の活性化が図られるが、体験メニュー等の新たな観光資源の開発にも取り組むこと。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続				類似事業と整理統合
		●		事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。